

究活動の動靜何れでも結構です。

四、会費の納入

多額の御協力を得て、次々と会費も納入して頂いていますが、まだ未納の方も少ないので、本会の維持発展のため、よろしく御協力御願ひします。特に地方委員の方々の御協力を御願ひします。

五、会員のおすめ

現在の会員は百六十名内外（名簿参照）です。よい内容の雑誌を発行するには、一人でも会員が多くなければ不可能です。同好の士を御勧誘下さる様御願ひします。会員の方は勿論ですが、これも地方委員の方の御助力を御願ひします。

六、創刊号

創刊号は品切れです。次号申入至急に。

七、表彰された会員

去る十一月三日、文化の日に、本誌常任委員賀川光夫氏は本県より、又下毛郡市委員山本龜治氏は大分合同新聞社より、それら文化功労者として表彰されました。

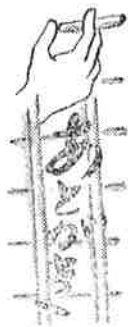
八、会員名簿

早急に整理したため、住所の誤りがある

かも知れません。特に地方委員の紹介で会員となられた方の住所の不明のものがあり通信の返送されるものもあつて、困つています。間違つている方や不明のものは、至急正しい御住所を御知らせ下さい。

九、「地方史研究座談会」に就て

「地方史研究座談会」については、南郡下堅田村その他から、すでに本会よりの参加依頼を受けています。出来るだけ要望にそい、共同研究の成果を挙げたいので、本会からも参加させて頂きたく、御連絡を御願ひします。



創刊号の時れをとよりもどして、引き続き第三号をおとどけする運びとなつた事を、皆様とともに喜びたいと思います。恐らく年末ないし新年早々には御手もとにとどく事と予想しています。会員諸氏の御協力により、原稿の集りは予想外によく、またこの度も若干の期限の後れで次号まわしとなつたものが相当あります。うれしい悲鳴で

すが、そうした投稿会員には相すまぬことと思つています。前号本号ともに、三惠印刷社長高井久雄氏の犠牲的奉仕による専多であり、なを立川委員の万端に亘る奔走、富米委員の活動等、見えない力の集積の結果です。本会の発展も、一に衆力の結集によらなければ、期待することは出来ません。会員諸氏の一段の御協力を御願ひすると共に、幸先よい昭和三十年を迎えらる様、切に御祈りいたします（渡邊）。

昭和廿九年十二月廿三日 印刷
昭和廿九年十二月廿五日 発行

本号頒價 九十円

大分県地方史研究会
編集兼代表者 渡邊 澄 夫
印刷人 高井 久 雄

印刷所 三惠印刷株式会社
大分市上野 電話一七七五

大分市黙原小学
学芸学部国史研究室内
発行所 大分県地方史研究会
(振替口座下関五二四九番)